

陽光あびて キックオフ

神戸市少年リーグ始まる

初夏の日差しに、少年選手の汗がキラキラ――。53年度神戸市少年リーグが始まった。

4月30日、東灘区御影公会堂に参加全チームが集まり、河本春男・神戸市協会会長の励ましの言葉を受けて、選手たちは一年間の活躍を誓いあった。このリーグは、神戸市ス

- 参加チーム**
- 1部(小学男子6年生年齢以下)**
【1組】千歳B、多井畑C、高倉台D、神戸FC A、箕谷A、名倉B 【2組】丸山B、ひよどり台 A、東灘A、神戸YMCA・A、千歳A、高倉台 A 【3組】ひよどり台B、鶴越A、東灘B、御影 A、丸山A、桜の宮A、高倉台B 【4組】御影B、神陵台B、箕谷B、垂水SS、多井畑B、名倉A、板宿 【5組】蓮池A、和田岬A、鶴越B、高倉台 C、多井畑A、北須磨、北五葉 【6組】神戸FC B、和田岬B、神戸SS、渦ヶ森、神陵台A、成徳A、蓮池B
＝以上40チーム
- 2部(小学男子4年生年齢以下)**
【1組】神戸FC・C、成徳C、東灘C、蓮池C、箕谷C 【2組】鶴越C、高倉台E、多井畑D、千歳C、桜の宮 【3組】神戸YMCA・B、ひよどり台C、成徳B、神戸FC・D、鶴越D
＝以上15チーム
- 3部(小学女子)**
【1組】名倉、箕谷、神陵台、高倉C、多井畑A、渦ヶ森、八多、高倉台A 【2組】ひよどり台、桜の宮、多井畑、丸山、高倉台B、蓮池
＝以上15チーム

室内(男)が優勝

神戸市少年団サッカーリーグ全大会

第9回神戸市少年団サッカーリーグ全大会は3月26日から29日まで、兵庫区の御崎グラウンドで行われ、男子は室内(むろうち)A、女子は有馬が優勝した。この大会は「健全なスポーツ活動を通じて正直、勇気、協力などのスポーツマン精神を養おう」と毎年開かれているもので、グラウンドでは連日元気なプレーがくり広げられた。

元気なプレーを見せる少年選手たち (箕谷A―美野丘、3月26日、御崎サブグラウンド)



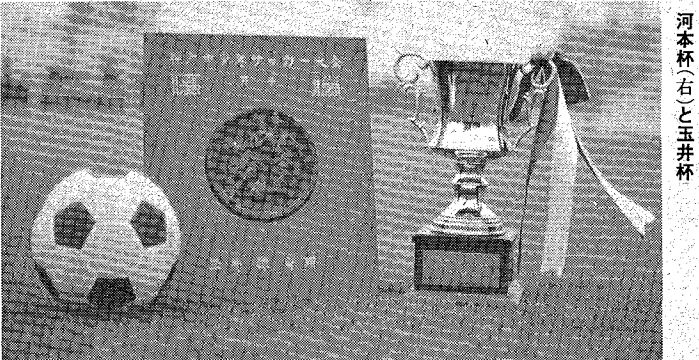
第9回神戸市少年団サッカーリーグ全大会 結果

男子

湊川多聞A	1	0
多井畑A	3	1
伊川谷A	1	0
乙木A	1	0
八多A	3	0
室山A	8	2
東山A	0	2
小野柄A	0	3
箕谷A	1	2
美野丘A	0	0
東灘A	3	0

女子

1位 有馬	2位 真野A	3位 甲緑、吾妻A
-------	--------	-----------



河本杯(右)と玉井杯

スポーツ少年団リーグが発展解消させ、昨年度から新しく生まれたもので、ことしで2年目。リーグは年齢別に3つのグループに分け、男子を1部と2部に、また3部を女子とし、参加は新顔の和田岬を含め1部40、2部15、3部15チーム。

5月3日、1部の北須磨―高倉台C戦で幕

をあげ、好試合が続いている。なお、1部の優勝と準優勝チームには河本杯が、また2、3部の優勝チームには玉井杯が贈られることになっている。リーグは夏休みをはさんで前期と後期に分け、12月まで行われる予定。

兵庫、静岡に惜敗

全日本選抜 中学生大会 課題は個人の生かし方

第1回全日本選抜中学生大会が3月28日から4月1日まで東京で行われ、熊本代表が静岡を破って優勝した。

この大会は、夏休みに開かれる全国中学生大会とは異なり、選抜方式としたことが大きな特徴。近い将来、ユース代表、全日本代表へ育つ中学生年齢の選手を発掘しようという目的で開催された。日本各地の選抜10チームが参加して、勝ち抜き方式で試合が行われたほか、期間中、各種の研修会も開かれ、多くの成果をあげて終了した。

関西代表として出場した兵庫選抜は、1回戦で静岡と顔を合わせ、白熱した好試合を展開したが延長の末、惜しくも敗れた。

大会でした。日本協会としては、個性があり正しい状況判断ができる選手の育成に目標を置いており、われわれ指導者もその点を考えてながらチームづくりを行っていましたが、試合になるとどうしても勝負を意識してしまい、大会の趣旨と少しズレが生ずるところもあったように感じられます。

兵庫チームには、個々には非常に優れた選手が多くいるのですが、その能力を最大限に発揮するにはどうしたらよいか、チームづくりの段階で、もう少し工夫が必要だったように思います。

第1回全日本選抜中学生大会 結果

香川県選抜(四国)	0	0
栃木県選抜(関東)	0	1
東京都選抜(関東)	4	1
広島県選抜(中国)	0	2
熊本県選抜(九州)	1	2
静岡県選抜(東海)	2	2
兵庫県選抜(関西)	1	0
宮城県選抜(東北)	6	4
富山県選抜(北信越)	1	1
北海道選抜(北海道)	3	1

優勝 熊本選抜

多彩な国際試合

神戸中央球技場だより

5月25日(木)
ジャパンカップ国際大会
ボルシアMG―SEパルメイラス
19:00キックオフ

5月26日(金)
在日朝鮮蹴球団―スリランカ
入場料(一般) 1,000円、(大学・高校・中学生) 500円、(小学生) 無料
19:00キックオフ

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として50円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

〒657 神戸市灘区上野通6丁目3-12
加藤 正信 ☎078(861) 3100

なお、数入分をまとめて申し込まれる場合は、郵送料の割引がありますのでご連絡ください。



1978 5月号

発行所 神戸市サッカー協会
神戸市北区有野台7丁目16-6
〒651-13 ☎(078)981-5867
発行人および編集人 加藤正信
神戸市灘区上野通6丁目3-12
〒657 ☎(078)861-3100
毎月1回10日発行 購読料1部20円

ジャパンカップ国際大会

5月25日 神戸中央 ボルシア―パルメイラス

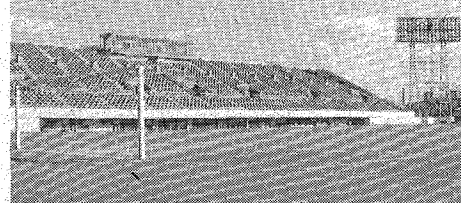


世界のトッププロ4チームとアジアから2チームを招き、日本国内では史上最高の特別企画「ジャパンカップ1978国際大会」が、5月20日から29日まで、東京国立競技場など10会場で開かれる。神戸では5月25日、ボルシアMGとSEパルメイラスの試合が組まれており、ヨーロッパと南米を代表する強豪の衝突に、早くも大きな関心が高まっている。

世界の強豪が集結 奥寺の1FCケルンら6チーム

ジャパンカップは「低迷する日本サッカーの現実を見直し、強化のきっかけに」を目的とし、これから毎年開催して日本の名物行事にする方針である。

参加は西ドイツのブンデスリーガの「1FCケルン」、「ボルシア・メンヘングラッドバッハ」、イングランド1部リーグの「コベントリー・シティ」、ブラジルの「SEパルメイラス」の世界的なプロクラブ4チームと、アジアから韓国(大韓民国)、タイ両国の代表チーム、それに地元日本からは日本代表、日本選抜の計8チームで、これだけの一流チームを一堂に集めた大会は初めてのこと。



NYコスモス以来、久しぶりに外国チームを迎える神戸中央球技場

とき 5月25日(木) 午後7時キックオフ
ところ 神戸市立中央球技場=神戸市兵庫区御崎町1丁目(三宮国際会館前からバス⑩、⑪系統で25分。国鉄神戸、高速神戸駅前からもバス⑩、⑪系統で15分、吉田町1丁目下車)
入場料 指定席4,000円(前売り3,000円)、自由席2,500円(2,000円)、一般立ち見席2,000円(1,500円)、中高生立ち見席1,000円、小学生立ち見席500円
前売り券の発売 さんちか・インフォメーション ☎332-1570、神戸新聞会館プレイガイド ☎231-4801、オウビ ☎242-3667、ヤノスポーツ ☎391-1121ほか。5月10日より発売中。
お願い 球技場周辺は混雑することが予想されますので、ご来場は電車、バスを利用してください。

夢の対決

なかったが2位を確保。69年に来日して3勝1分け。フォクツとボンホフは、ワールドカップ出場のため参加できないが、ウド・ラテック監督のもと、昨年のヨーロッパ最優秀選手のシモンセンやチームきっての得点王ハインケスなど豪華な顔ぶれが見られる。

SEパルメイラス ブラジル選手権2回、サンパウロ州リーグで15回優勝している強豪で、創立は1914年。「パルメイラス」はシュロの木の意味で、チームカラーも緑と白、ニックネームも「緑の水」といわれている。67年に来日して2勝1敗。ワールドカップに4度出場のFBジャウマ・サントスがあざやかなボール扱いを披露してくれたが、この時の日本代表の1勝は、日本チームがプロからあげた初めての勝ち星。

ジャパンカップ日程

- 5月20日(土)
Ⅱ韓国代表―パルメイラス(15:00 大阪長屋)
- 5月21日(日)
Ⅰケルン―タイ代表(13:00 横浜三ツ沢)
Ⅰ日本代表―コベントリー(19:00 東京国立)
Ⅱ日本選抜―ボルシア(13:00 静岡草薙)
- 5月23日(火)
Ⅰ日本代表―タイ代表(16:00 名古屋瑞穂)
Ⅰコベントリー―ケルン(19:00 大宮県営)
Ⅱボルシア―韓国代表(18:30 広島県営)
Ⅱ日本選抜―パルメイラス(16:00 京都西京極)
- 5月25日(木)
Ⅰタイ代表―コベントリー(17:00 東京国立)
Ⅰ日本代表―ケルン(19:00 東京国立)
Ⅱ日本選抜―韓国代表(15:30 岡山山)
Ⅱボルシア―パルメイラス(19:00 神戸中央)
- 5月27日(土)
準決勝 Ⅱ組1位―Ⅰ組2位(14:00 東京国立)
準決勝 Ⅰ組1位―Ⅱ組2位(15:30 大阪長屋)
- 5月29日(月)
決勝 (19:00 東京国立)
- 【Ⅰ組】日本代表、1FCケルン(西ドイツ)、コベントリー・シティ(イングランド)、タイ代表
【Ⅱ組】日本選抜、ボルシア・メンヘングラッドバッハ(西ドイツ)、SEパルメイラス(ブラジル)、韓国代表

左上写真はボルシア・メンヘングラッドバッハ 写真提供 イレブン

事業計画を決定

関心低い? 登録チーム

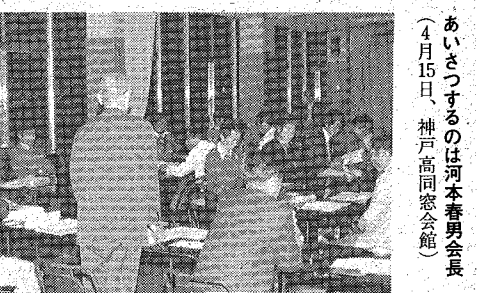
議席数 165
出席者 35

神戸市サッカー協会は4月15日、神戸高同窓会館で53年度総会を開き、52年度事業報告、決算を承認したあと、53年度事業計画と予算を決めた。(4面に事業計画)

今年度の事業をみると、例年行われてきた各種大会のほか、強化事業の講習会、研修会の充実が大きく目につく。また、そのための予算は760万円で、昨年度より70万円多い。

総会は年に1度の重要な会議だが、出席率は2割。委任状を含めて総会は成立したが、登録チームの関心の低さは何を意味するのだろうか。なお、現役員は次のとおり。

【名誉会長】玉井操 【会長】河本春男 【副会長】加藤正信、西邑昌一 【監事】二宮運次、岡村敬
【理事長】一北四郎 【委員長】総務=高見豊、社会人=中村寿男、高校=岩崎壮光、中学=吉岡修次



【常務理事】(社会人)中村寿男、高見豊、大谷輝彦、一北保五郎、頭木新一(大学)五島裕治郎(高校)一北四郎、岩崎壮光(中学)吉岡修次郎(少年)田上由雄(会長推薦)前野正、高橋敏雄、上野勝幸=以上13人

あいさつするのは河本春男会長(4月15日、神戸高同窓会館)



決勝戦は—— ブラジル—西ドイツか？

タンゴと太陽とワインの国、陽気なアルゼンチンで行われるワールドカップは、いよいよ6月1日、開会式に続いて西ドイツ対ポーランド戦で、25日間にわたる熱戦の火ぶたを切る。16カ国の代表チームは、すでに万全の態勢がととのい、出を待つばかりだ。西ドイツの連覇なるか、ブラジルが巻き返すか興味はつきない。

試合は、まず4チーム4グループによる1回総当たりリーグ戦を行ったあと、各グループ上位2チームが2グループに分かれて2次リーグを戦い、1位の2チームがワールドカップをかけて、決勝戦に進出する。

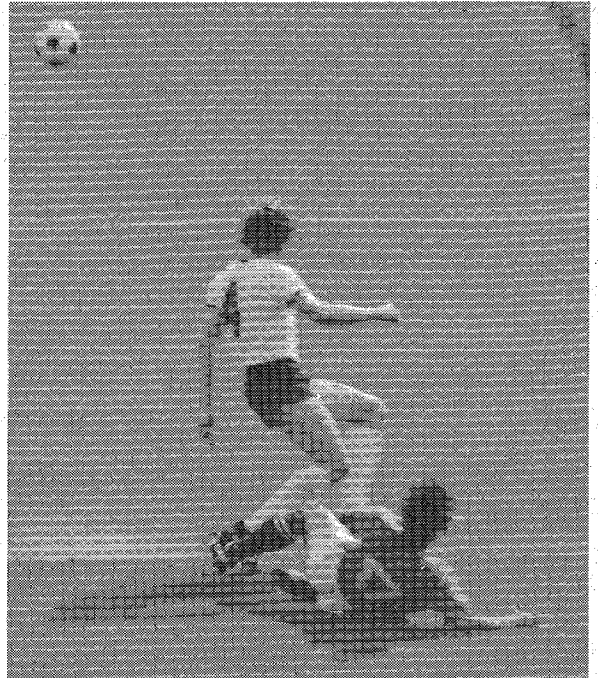
ワールドカップを目前に控え、各チームはテストマッチで最後の調整に入っているが、4月5日、本大会の行方を占う大事な試合で、敵地に乗り込んだブラジルが西ドイツを下し、ブラジルの株は一段とはねあがった。一方の西ドイツは、最後の準備試合スウェーデン戦にも敗れ、きびしい立て直しを図っている。



第1組	第2組	第3組	第4組
アルゼンチン	ポーランド	オーストリア	オランダ
ハンガリー	西ドイツ	スペイン	イラン
フランス	チュニジア	スウェーデン	ペルー
イタリア	メキシコ	ブラジル	スコットランド

◆今大会の公式ポスター

▼シュバルツェンベック④のタックルをかわして、センタリングをあげるユーゴのダニロ・ポビボダ(74年西ドイツ大会2次リーグ、西ドイツ対ユーゴ)



高まる興奮と期待

ワールドカップ開幕間近

1930年に第1回大会が始まって以来、第2次世界大戦中を除き、4年に1度開催されるワールドカップ。プロもアマもいっしょに参加できる世界最大のスポーツ大会で、これまで優勝したのはブラジル(5回)、西ドイツ(2)、イタリア(2)、ウルグアイ(2)、イングランド(1)の5カ国。

日本は昨年初めアジア予選地区第1次予選で脱落した。開催国アルゼンチンと前回大会優勝の西ドイツを含めて16代表が出場する。2年をかけた予選の段階で、好試合が数多く行われ「サッカーの母国」イングランドや、前回の大会で優勝した西ドイツにたどった黒星をつけた東ドイツなどの国々が姿を消した。また反対に、50年代前半に世界最強チームと称されたハンガリー、58年大会に3位になったフランス、世界の強豪のひとつスペインが実に3回ぶりに顔をみせる。これは予選がどれほど激烈なものであるか示している。決勝大会に出ること自体が、非常に価値のあることなのだ。

新しい英雄はだれか？

74年西ドイツ大会で、スーパースターの座を分けあったフランツ・ベッケンバウアー(西ドイツ)と、ヨハン・クライフ(オランダ)の出場の望みは消えた。守備の最後尾について、色々な種類のボールをまるで魔法のよう



にあやつるベッケンバウアー。西ドイツ大会で優勝の原動力となった「皇帝」は、チーム(NYコスモス)側の都合で、出場を断念した。一方、恐るべき技術とはやさをもち、あつという間に、世界サッカーの主役のしあがったクライフは予選に出場したものの、決勝大会に参加する意志はないということで、メンバーに入っていない。

アルゼンチン大会は、偉大な英雄を失ったことになる。しかし、ワールドカップはいつも筋骨きのないドラマとともに、すばらしい選手を生んできた。事実、スウェーデン大会にすい星のように現れた17歳のペレの登場を予言した人はいなかったはずだ。この大会でも超エースが出現する可能性は十分だ。

NHKが決勝戦など衛星中継

1978年の6月25日は、日本サッカー史上の記念すべき日になる。アルゼンチン・ブエノスアイレスのリバープレートで行われるワールドカップ決勝戦が、日本に衛星中継される

新谷ら29人 兵庫県高校優秀選手

53年度の国体少年の部の代表をめざして、兵庫県下6地域の高校選抜チームが4月3、4、5日、神戸磯上グラウンドで対抗戦を繰り広げた。大会は、新3年生を主体とするシニアと、2年生が中心となるジュニアの2つのグループに分けて行われたが、シニア、ジュニアともに選手層の厚い神戸が優勝し、神戸のシニアチームには、兵庫協会副会長・赤川公一氏から贈られたカップが渡された。

この大会には、社会体育として活動するクラブチームの選手は参加していないが、国体少年の部の代表の大半を占めると予想される高体連加盟チームの中から選抜された選手が集まった。

選抜チームに対する県下各地区の意識も高まり、一応のレベルに達している選手もいるが、まだまだ高校生年齢の選手として、身につけておかなければならない基本的能力に欠けているのが目についた。代表選手として要求される点は次のようなものである。

1. ボールコントロールの養成
 - 敵の選手がいても正確に扱える技術
2. 個人とグループ戦術の理解と実践
 - 個人スペースの作り方と使い方
 - マークとカバーリング
 - 数的優位を生かす手段

●相手の意図を読み取る能力

3. 体力の増強

- 80分間を走り抜くためのスタミナ
- 相手に走りまけないスピード
- キック、ジャンプ、タックルに必要な筋力
- 技術を支えるボディバランス

優秀選手

シニアチーム▷GK 新谷祐幸(神戸)、柳孝和(県農)、中山治(須磨)、松本陽介(西宮東)▷FB 福永淳二、西田正雄(以上御影工)、石橋康司、鬼塚純一(以上尼崎西)、吉田均(県尼崎)、杉井義直(市川)、前田恵吾(福岡)、曾根義浩(三原)▷HB 福田安和(御影工)、井開理、沖田圭司(以上県西宮)、高浜宏吉(神戸)、東川博昭(明石南)、村上嘉彦(須磨)、赤松明彦(尼崎北)、小西真一郎(市姫路)、宮本工(飾磨工)、▷FW 大野真一、塩形洋二(以上御影工)、岡崎浩嘉(市川)、大前優治(明石北)、原田順一(県芦屋)、矢田浩司(鳴尾)、田口亮一(尼崎北)、吉田昌史(三原)＝以上29人

ジュニアチーム▷GK 今朝丸和弘(星陵)、桜井均(西宮東)▷FB 照岡徳仁(御影工)、足立達哉(柏原)、田中恵司(県芦屋)、門口安弘(洲本)、石田雅己(関学)、福原義弘(洲本実)、三木信幸(武庫工)、春名利昭(飾磨工)、古塚一三(西宮東)、嵐将(姫路東)▷HB 与保二(御影工)、島垣秀次(洲本)、阪本雅司(須磨)、浜田啓造(津名)、大橋秀清(関学)、橋本真一(明石北)、中根洋介(県尼崎)▷FW 早田仁(北須磨)、金本浩成(柏原)、山名幸男、石川潔(以上須磨)、上田正雪(志知)、室場俊二(洲本)、石川浩(宝塚)、夏目孝司(飾磨工)、藤田圭三(県芦屋)、白銀康博(太子)、高田純彦(明石南)＝以上30人

韓国訪問記

団長 加藤正信

神戸フットボールクラブ(神戸FC)のベテランズA(42歳以上、平均年齢54.1歳)と西日本少年サッカークラブの合わせて2チーム35人が、3月31日から4月3日まで、韓国(大韓民国)の釜山とソウルを親善訪問した。



神戸FCベテランズ(30歳以上)は、昭和48年11月にチームを結成して以来、今日まで毎月1回の割合で西日本の各地を遠征し、その都市のOBと交歓を重ねて、西日本OBサッカー連盟結成の原動力となったが、今回ベテランズA(42歳以上)から、海外にも足を伸ばそうという希望がでて、韓国遠征が計画された。

西日本OB連盟は、OBチームが自分たちのサッカーを楽しむとともに、メンバーの育成する少年たちの技術向上にも力を貸すことにしている。1昨年から中学2年生(この4月から3年生)の優秀選手を集めた選抜チームを育ててきたが、その最終行事として海外遠征を企画し、神戸FCベテランズといっし

釜山中央中学校の選手と仲よく記念撮影におさまる西日本少年クラブの選手たち(白)。前列右端は主審の高山哲郎氏(3月31日、東萊高グラウンドで)



監督 緒方健司(熊本県協会理事長)▷コーチ 小花公生(清水市辻小教諭)▷選手 西山由浩(清水市小島中)、後藤信三(広島市翠町中)、川崎好洋(清水市一中)、松本守弘(浜松市八幡中)、横谷賢徳(熊本市出水)、東賢治(広島市翠町中)、望月達也(清水市四中)、佐野達(清水市一中)、後藤義一(清水市一中)、佐野宏光(清水市五中)、滝敏晃(清水市庵原中)、刑部佳浩(浜松市観塚中)、山根正信(枚方市四中)、北川勝士(枚方市四中)、林和馬(岐阜県高富中) =15人

よに韓国訪問が実現した。

中学選抜チームは西日本少年サッカークラブと呼ばれているが、そのメンバーは別表のとおりである。このチームは遠征にそなえて、昨年12月に静岡県清水市で3泊4日の合宿訓練を行っているが、その後は特にチームとしての練習はやっていない。遠征直前の3月29日、神戸市に集まって合宿に入った。30日には、兵庫県高校No.1の御影工の1年生(現2年生)チームに胸を借り、堂々と3-0で勝っている。

3月31日、いよいよ出発の日がきた。6時半に宿舎の神戸市旅行会館を出た少年クラブの一行は、大阪空港で神戸FCベテランズと

必勝を期して飛び立つ神戸FCベテランズ(3月31日、大阪空港で)



韓国へ武者修業 平均54歳のオールドボーイ

同行の中学選抜も大活躍

合流し、JAL981便で釜山へ向かった。雨の天気予報を見事に覆し、好天に恵まれて予定どおり11時に釜山に着いた。金海空港には、釜山蹴球協会の金汎佑副会長以下役員の方々と、少年チームの選手多数の歓迎を受けた。昼食が午後2時半、しかも焼き肉パーティーで少し食べ過ぎの一行は、旅の疲れをいやす間もなく、4時から東萊高校で2試合を行った。

▶神戸FC・V 1-1 釜山蹴球協会OB
釜山協会チームは平均年齢47.3歳で、神戸より7歳若くて体力がすぐれていたが、神戸の健闘で引き分ける。

▶西日本少年クラブ 2-1 釜山中央中学校
◇得点者【西日本】後藤義一、刑部佳浩【釜山】金連鶴 ◇シュート【西日本】7、【釜山】14

西日本ボックスから中盤へのミスパスが目立ち、そのうえ釜山のせり合いの強さに押され、苦しい展開だったが、ボックスがよく耐え、逆に少ないチャンスを得点に結びつけて釜山中学校を破った。中央中学校は釜山中学サッカー界の名門で、しかも後半には釜山選抜から3人を補強した優秀チームであった。

その日の夕食は、釜山蹴球協会の招宴で焼き肉パーティーが開かれた。翌4月1日は、貸し切りバスで午前8時に釜山を出発し、一

路ソウルへ車を飛ばした。途中、慶州を観光して、午後6時に半島ユースホテルに着いた。4月2日に国民大学のグラウンドで3試合を行った。

▶神戸FC・V 0-2 孝昌早起蹴球団
神戸はよく戦ったが、孝昌の体力と走力の前に力尽きた。

▶西日本少年クラブ 2-0 高麗早起蹴球会
◇得点者【西日本】望月達也、高麗自殺点 ◇シュート【西日本】14、【高麗】6

個人技にすぐれ、ボールの持てる西日本が終始ゲームを優勢にリードし、会心の勝利を収めた。

▶神戸FC・V 0-2 高麗早起蹴球会
高麗側の要請で、神戸は休む間もなくがんばったが、体力の劣勢と持ちこたえられず、完敗した。

韓国側の温かいもてなしと、全団員協力一致の行動は、韓国親善訪問の目的を達成した楽しい旅であった。

審判講習会

5月20、21日 神戸市協会

神戸市協会審判委員会は、新規4級審判講習会を開きます。受講ご希望の方は当日、会場に集合してください。

【第1日目】5月20日(土)午後6時、神戸登山研修所【第2日目】5月21日(日)午前9時、場所未定【備考】第2日目は運動のできる服装を用意のこと。なお、4級審判登録料1,000円。ルールブック代300円。

本紙は次のところにもあります

関正スポーツ

東灘区住吉宮町4丁目6-13 ☎078(821)8449
国鉄住吉駅南側西へ20m

灘スポーツ

灘区倉石通5丁目1-8 ☎078(861)4671
市バス水道筋6丁目上がる100m東側

ヤマダスポーツ

葺合区熊内通6丁目3 ☎078(241)9317
雲中小学校前

塩谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5 ☎078(576)0870
バンドウ化学南

MEN'S SHOP MAC

三宮センター街店 ☎078(391)0895
ブレイザーショップ
トアロード店 ☎078(391)0896
神戸・新開地店 ☎078(575)7688

53年度事業計画 神戸市協会

大会、リーグの主催

【1種】

神戸市社会人リーグ

5月7日~12月末、御崎サブほか

神戸市民大会

4月9日~5月7日、

神戸市総合体育大会(市内9区対抗) 10月下旬

神戸市社会人リーグ選手権大会

1~3月、神戸中央ほか

【2種】

神戸市総合体育大会(オープン参加) 9~10月

【3種】

神戸市民大会

7月

全国中学校大会神戸市予選

兵庫県中学生選手権大会神戸市予選 10月(予定)

【4種】

神戸市少年リーグ

4~12月

兵庫少年大会神戸市予選

全日本少年大会神戸市予選

【レクリエーションリーグ】

7~9月、神戸中央、御崎サブ、磯上ほか

上部協会等主催の大会、リーグ戦等への参加、推薦

兵庫県社会人リーグ

4~9月

関西社会人リーグ

4~10月

兵庫県社会人中央トーナメント

五大市体育大会

7月21~23日、京都市

全国中学校大会兵庫県予選

6月

兵庫県中学校選手権大会

11月

兵庫県少年大会 学年別大会

11月

兵庫県都市対抗社会人大会

3月

上部協会等主催行事の主管

ジャパンカップ国際大会

5月25日

全国自治体大会

8月19~24日

日本リーグ1部、2部

天皇杯全日本選手権大会

兵庫予選

4~7月

関西予選

11月

決勝大会

12月

強化事業

○少年サッカーパークスキーム、少年選抜チームの編成と強化 ○中学生優秀選手指導会、中学生選抜チームの編成と強化 ○高校生優秀選手指導会、高校生選抜チームの編成と強化 ○五大市大会代表選手の選考と強化 ○都市対抗大会代表選手の選考と強化

講習会と研修会

少年サッカー指導者講習会、研修会

4級審判員養成講習会

3級、4級審判員研修会

指導者研修会(社会人~中学校の指導者)

ミニサッカー教室(室内)

機関紙「神戸のサッカー」の発行

毎月1回 10日発行